

市民助け合いネット

# 仲間通信

[第45号]

発行

NPO法人

市民助け合いネット

代表 鎌倉 常雄

〒270-0123 流山市若葉台3-131

☎ 04-7153-5733

私たちの仲間

令和5年6月末現在

総数 1,145名

内訳

提供会員 384名

利用会員 761名



新しい役員を加え活動をスタートしました

## 助け合い活動・やって良かった二十年 みんなでも更なる飛躍を目指そう!

市民助け合いネットは去る五月十九日(金)に令和四年度・社員総会を開催しました。

議案に沿って令和四年度の事業報告並びに決算報告が行われ満場一致で承認されました。次に役員・

監事の任期満了に伴う役員改選について審議を行い、新役員候補者、任期満了で退任する役員が満場一致で承認されました。続いて令和五年度の事業計画並びに事業予算が審議され、満場一致で承認されました。本年度は当法人創立二十周年の記念すべき年でもあり、創立二十周年の節目の年に相応しい高齢者・障がい者福祉サービス活動に注力するとともに流山市の「安心・安全のまちづくり」のため、オール世代で手を取り合って支えあい、助け合う地域づく

り・仲間づくりに先頭になって取り組むことを誓い合い社員総会が無事終了しました。

新型コロナウイルス感染症がインフルエンザと同じ第5類に分類されて新型コロナウイルス以前の生活に戻りつつありますが、この三年間で私たちの活動に大きな禍根を残しました。対面できか成り立たない生活支援活動が感染防止対策で大きな制約を受けてしまいました。また、空白の期間が生じたことで活動の体制を根本から見直す必要に迫られています。

その意味では今年には「第二の創立」に向けて会員の皆さんのご協力を得て当法人の若返り&活性化を実現する決意で頑張っております。

### 市民助け合いネット を取り巻く環境

- ① 提供会員の高齢化が顕著。
- ② 提供会員不足、反面、生活支援依頼は拡大傾向にある。
- ③ 生活支援活動の団体を増やす必要があるが我々の努力では限界。
- ④ 活動拡大のため関係機関の連携協議体の取り組みが望まれる。
- ⑤ 会員数が千名を超え社会的責任が増している。
- ⑥ 令和四年度決算は当法人設立以来、最大の赤字決算となった。
- ⑦ 新型コロナウイルス感染症が我々の活動に大きな禍根を残した。

### 市民助け合いネットが目指すもの

●方針・多世代が交流し、お互いに支え合い、助け合うまちの実現

高齢者福祉は地域包括ケアシステムの構築が不可欠。その実現には住民主体の支え合い、助け合いの担い手と気域における活動組織づくりがポイントになる。流山市は人口増加率が全国一位の市となっている状況を鑑み、これからのまちづくりを担う子育て世代からシニア世代まで全世代が一緒になってまちづくりを進めることが肝要。その実現に当法人が先頭に立ち、「多世代が交流し、お互いに支え合い、助け合うまちの実現」に取り組んでいく。

### 具体的な実施計画

- ① 子育て世代とシニア世代間の交流と相互支援  
シニア世代だけによる老々介護や老々支援は限界、各世代が交流し、お互いの課題解決に支え合い、助け合いの輪を広げることが不可欠。
- ② 市民助け合いネットが指定管理者として委託されている初石、南流山両公民館を活動拠点として方針に沿った地域活動を進める。  
具体的な施策は公民館を「私の居場所」づくりの拠点として地域と一体となって地域の活性化、仲間づくりを促進する。
- ③ 「私の居場所」は令和四年度から南流山センターからスタートし今年度から初石公民館に横展開する。  
創立二十周年の年に相応しい記念事業(記念事業、記念式典など)

④ 組織の若返りと活性化  
新たなスタートの年として会の若返り、仲間づくりに注力する。  
⑤ 財務改善  
令和四年度決算は大幅赤字を計上した。想定外の電力、ガス等の公共料金高騰等が一員。徹底した経費削減対策、体質改善施策を講じていく。

### 役員体制

役職	氏名
代表(重任)	鎌倉 常雄
副代表(重任)	弘田 娃子
理事(重任)	森 光雄
理事(重任)	前田 貞光
理事(重任)	高田 吉治
理事(重任)	古谷 巖
理事(重任)	三木 雅子
理事(新任)	佐々木 巧
理事(新任)	札幌 政行
理事(新任)	菅野 文夫
理事(新任)	山川明日美
監事(重任)	朝妻 俊和
監事(新任)	永塚 治夫

### 昨年度活動実績

サービス種別	実績件数	(比率)
ア、外出支援(車)	3,120	74.1
イ、対人支援	155	3.7
ウ、家事援助	183	4.4
エ、庭の手入れ	229	5.4
オ、犬の散歩	361	8.6
カ、その他	161	3.8
合計	4,209	100.0

# 創立20周年事業について

市民助け合いネットは今年、創立20周年を迎えます。高齢者および障がい者の生活支援活動を続けて20年。元気シニアづくりの一環で“ふれあいの家「えがお」”を開設して9年が経過しました。高齢化の進捗とともに私たちの活動は、ますます重要になっています。

私たちの活動が“安心、安全のまちづくり”に寄与するとともに次の世代に繋いでいけるよう、会員の皆さんと志を一つにして頑張ってください。今年度は創立20周年に相応しい次の記念事業に取り組んでまいります。

記

- I. 「私の居場所」事業  
安心、安全なまちづくりの一環として、誰でも集え、誰でも主役として参加できる「私の居場所」づくりに取り組みます。
- II. 創立20周年記念事業  
お世話になった方に対する感謝の気持ちと活動に参加いただいている会員の皆さまと交流を深める場として開催します。
- III. 活動20年誌編纂事業  
創立10年から20年に亘る活動を重点に紹介するとともに次に続く仲間への道標となる活動史を編纂します。

## 記念事業実現のため、寄付のお願い

私たちは「安心・安全なまちづくり」の一端を担い、また、私たちの高齢者福祉活動を引き続き継続・発展させるために次の時代を担う仲間作り、地域作りに取り組んでまいります。

市民助け合いネットは、右記に掲げた記念事業を実現するため寄付を募ることにいたしました。新型コロナウイルス感染症による活動の停滞、電力料金をはじめとする公共料金値上げや諸物価高騰により当法人は非常に厳しい運営を余儀なくされています。

そのような状況下、当法人の窮状をご賢察賜り、何卒ご理解ご協力のほど宜しくお願いいたします。

詳しくは、仲間通信第45号配布に合わせ、「寄付のお願い」を添付しますので、ご寄付よろしく宜しくお願いいたします。

## 令和4年度 活動報告 助け合い活動

助け合い活動件数は、年間四千二百九件でした。令和三年度から二十七年増となりましたが新型コロナウイルス前に比べると七十三%に留まりました。感染対策が緩和されましたので、今年度は、従前以上の活動を実施すべく会員一同、頑張ってください。会員数は、前年から三十二名増しました。利用会員は増加の一途ですがボランティア会員が増えないことが悩みです。



夫婦デュオ「猫ラチオ」

### 行政からの受託事業

### 高齢者外出支援

流山市の高齢者福祉政策の一環で外出困難者向けの外出支援サービス受託し実施しています。令和四年度は延べ六百八十一人の方



車による送迎活動



植栽の選定作業

### ふれあいの家「えがお」活動

ふれあいの家「えがお」活動は、年間を通して利用者数が五千七百六十一名で新型コロナウイルス以前と同等の来場者がありました。四年度後半は、コロナ以前のイベントを再開して利用者を楽しんでもらいました。

ギターアンサンブル「リフレ」

を支援しました。この活動に対して三十名の運転者を登録して運行しています。新型コロナウイルス禍の中で協力いただいた提供会員各位およびご家族の方に感謝いたします。

### 交通安全教室

市内の保育園・幼稚園および小学校の延べ五百三十三人に対して「交通安全教室」を開催しました。「道路の正しい歩き方・横断道路の渡り方」や「自転車の正しい乗り方」などを指導しました。

### 公民館の管理運営

流山市の「初石公民館」と「南流山センター」を指定管理者として管理・運営を任されています。昨年の利用者は約十三万人超の方が利用しました。新型コロナウイルスによる公共施設の利用規制の影響が大きく、自主事業についても公民館祭りはじめ実施が未消化になりました。

暑中お見舞い申し上げます。

☆事務所からのお願い

●車による外出支援の依頼は、遅くとも3日前までにお願ひします。

●庭木の剪定、草刈りの依頼は7月、8月は控えてください。